

ネクスト Next *in Miyagi*

Company
Newsletter

Vol.8

エネルギーを
次へ繋ごう。



Next^{ネクスト} in Miyagi

「想いはつづくよ いつまでも」 くりでんミュージアム 栗原

遡ること約 100 年前、石越から沢辺まで
沿線の人たちの暮らしを繋ぐローカル線が生まれました。

細倉鉱山全盛の頃には、掘り出された鉱石を運び
週末には町に遊びに出る人たちが
客車はごった返していたそうです。

時が過ぎ、人々の足は車へと代わり、
くりはら田園鉄道はその役目を終えました。

でも、沿線に人たちに愛された「くりでん」は、
それでおしまいではありませんでした。
黄金色のランプが灯る旧若柳駅舎に動態保存され、
月に一度お客様を乗せて走る車両は
今でも楽しい旅の夢を繋いでくれています。



Contents

- | | | | | | |
|---|---|---|-----------------------------------|---|--|
| 4 | 株式会社ことうの商店
carenex オートパーク矢本 SS
渡邊 裕矢 さん | 6 | 野口石油株式会社
古川 IC 給油所
齋藤 直樹 さん | 8 | 伊藤忠エネクス
ホームライフ東北株式会社 宮城支店 古川事務所
赤間 暁典 さん |
| 5 | 株式会社佐利
佐藤 利尚 さん
利宜 さん
昭太 さん | 7 | エネクスフリース
村田インター CS
新貝 寛 さん | 9 | 伊藤忠エネクス
ホームライフ東北株式会社 宮城支店
狩野 未那美 さん |

📍 Next(ネクスト) 発行によせて

日々の暮らしのライフラインで、東北の人々の生活を支える伊藤忠エネクスグループ。
そこで働く仲間たちのエネルギー、地域の素晴らしさを伝え、心を繋ぐ情報誌を目指してお届けします。

Next^{ネクスト} in Miyagi

いつもの笑顔が待っている。

一機、また一機と、青空を滑るように

ブルーインパルスが松島基地に帰って行きます。

全国的には人気でも、この街で暮らす人たちには見慣れた光景。

それが2年間ほど、途絶えた時期がありました。

当たり前にあることがどんなに大切かを知っているお客様たち。

私たちは今日もここで、皆様をお待ちしています。



株式会社ことうの商店
carenex オートパーク矢本SS

〒981-0501 宮城県東松島市赤井字新川前 6-11
TEL.0225-82-4202 FAX.0225-82-9596

副店長 渡邊 裕矢 さん



「白でもこんなに変わるんですね」 作業中の車を見てコーティングを受注

ことうの商店に入って24年になります。出身が隣の石巻市で、震災当時は本社のある石巻市の南浜のスタンドにいました。そこは壊滅的な状況でしばらく復旧のめどが立たず、約1年ほどのブランクの後に戻って来ました。ここは毎日退屈しない個性的なメンバーが揃っています。目標達成など頑張った分だけきちんと評価していただけるからやりがいがありますね。

コーティング技術一級資格を持っています。先日作業中の白い車を見たお客様から「こんなにきれいになるんだったら、自分のもやって貰おうかな」と発注いただけたことがありました。コーティングは黒い車なら映えるけれど、白だとあまり変わらないと思っているお客様が結構多いので、作業を見て決めていただけて嬉しかったですね。

いろいろなことが起こる毎日、 家族のおかげで頑張れます

休日は家族と出かけることが多いですが、子どもが中2と小4なので、上の子は自分が興味のある場所でないと一緒に行ってくれなくなりました。石巻の祭りといえば、今年第100回を迎えた石巻川開き祭りです。夜は灯籠流しや花火に、日中は孫兵衛船競漕と結構人が集まります。このスタンドのすぐ近くに自衛隊の松島基地があります。この祭りでも展示飛行があるブルーインパルスは、人気があってよくテレビでも取り上げられますが、私からすると見慣れているし、ちょっとうるさいくらいです(笑)。

ゆくゆくは、店長をやりたいなと少し思っています。もちろん、今の店長さんとも仲良くしていますが、自分なりに試してみたいやり方などもあるので、今後の目標ですね。

Interview 1

地元の変化を見つめて24年
個性的な同僚たちと共に
地域の方々や会社のお客様の
カーライフを支えています。





上写真左から 佐藤昭太さん、利尚さん、利宜さん

Interview 2

ライフラインを、
そして地域の産業を守る
家業を継ぐために帰郷。
佐利と地域を支える
三本の矢として。



株式会社佐利

【本 社（精肉部）】
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西館下77-1
TEL.0220-22-3340 FAX.0220-22-6131

【燃料部】
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江4-5-6
TEL.0220-22-2331 FAX.0220-22-2745



3兄弟で会社を受け継ぎ
130 人の社員と
家族に支えられて

代表取締役 佐藤 利尚 さん（長男）

登米市は仙台牛の名産地。佐利は1949年に肉屋として開業し、1977年に燃料事業に参入しました。HL東北さんでの修行中に父が倒れ、会社を継ぐために帰ってきました。ライフラインというお客様の暮らしを支える仕事を通して様々なことを頼っていただき、20代から75歳のベテラン勢まで会社を愛して働いてくれる社員たちが頑張ってくれています。弟たちも戻って3人で会社を継ぎ、意見の相違もなく安心して仕事を任せられます。今後はカーボンニュートラルにも取り組んでいきたいですし、可能ならもうひとつ事業をやりたいと考えています。

登米産仙台牛を全国、
そして世界へ
仕事を任せられる仲間と共に

専務取締役 佐藤 利宜 さん（次男）

僕は東京の商社の食肉の部署でオーギービーフ輸入の仕事をしていたので、その経験が役に立っています。精肉部は自社工場と営業所、小売店と飲食店のほかに、登米市にある宮城県食肉流通公社に30名ほどの社員を派遣しています。僕が帰郷した10年前は赤字だったのですが、現在は社長が自由にやらせてくれるおかげもあり、ふるさと納税サイト「さとふる」で牛たんが全国2位になるなど全国販売も出来るようになり、大きく数字を伸ばしています。精肉部の今年のスローガンは「Everyday hard work」。ベトナム進出の準備も進めていますので、今とても楽しいですね。

「頼めば何とかしてくれる」
という信頼が
仕事の幅を広げてくれます

常務取締役 佐藤 昭太 さん（三男）

燃料部ではガス・灯油・石油と住設機器の販売、オートガスタンドの営業を行っています。私も現場に出て工事や修理を担当しており、一般のお客様から感謝されることに特にやりがいを感じています。便利屋さんのように頼りにしていただけることもありがたいですし、通常のガス会社ではお断りするような案件もご相談いただき、それで仕事の幅も広がるので非常に助かっています。登米市もほかの自治体同様、人口減と共にお客様が減少しているので、登米市以外のお客様を増やすなど、どうやってキープしていくかが今後の課題です。



野口石油株式会社
古川IC給油所

〒989-6226
宮城県大崎市古川新田大西 1-87
TEL.0229-26-2167 FAX.0229-26-2830

サブマネージャー
齋藤 直樹 さん



「今までの作業で一番！」は
最高の誉め言葉
地域の皆様に愛されるスタンドに

コロナで不景気になった建設業界から3年前に転職しました。前職で野口石油の大和店を使っていたのですが、「元気がいいなあ」と印象に残っていました。ここ古川店は工場や観光のかたも多いですが、6割強くらいは地元の年配のお客様。周りのスタンドがセルフで、ここだけフルサービスなのでご愛顧いただいているようです。うちは地域密着を掲げているので、そのお付き合いは大事にしています。

5～7月に当店でコーティングキャンペーンを実施した際、新規のお客様を獲得しました。その方はいろいろな店でコーティングをされてた方ですが、「今までやった中で一番上手い」と言っていただきました。担当者の私にとって、これは自信に繋がりましたね。

家族との時間も大切に
スタンドのイメージを変える戦略を

前職では朝も早く出張が多くて、子どもたちと会う時間が少なかったのですが、暮らしが変わりました。中1の娘と小5の息子がおり、娘は柔道部で1年生なのに、地区大会で2位になりました。息子は嫁にべったりなので、私の日々の原動力は娘の笑顔です(笑)。我が家は米農家もしており、その作業で休日が潰れることもあります。今年は場所によっては不作ですが、うちは例年より量が多いくらいでした。

今はまだ下積みで、次のステップはマネージャーですが今後の目標として、野口石油の経営に携わってきたいと思っています。そこで戦略的なことを考えて、「きつい」とか「寒い」というイメージではなく、若いスタッフがどんどん集まるようにスタンドのイメージを変えていきたいですね。



Interview 3

お客様との会話から求めているものを探り当て
笑顔で「ありがとう」と帰られた時に
初めて「やったな」と感じます。



Interview 4

アルバイトで入ったスタンドに
店長としてカムバック。
地元の方々の暮らしに寄り添った
カーライフを支えています。



エネクスフリート 村田インターCS

〒989-1305 宮城県柴田郡村田町大字村田字北塩内 89-1
TEL.0224-83-5858 FAX.0224-83-5831

統括店長 **新貝 覚** さん

年齢やライフスタイルまで考えて ベストなカーライフをご提案

村田インターのそばで、近くにスポーツランドSUGOもあるので、地元と県外のお客様が半々くらいです。主に車検と車の販売を担当し、お客様に寄り添ったベストなカーライフのご提案をさせていただいています。ご年齢のかたですと、いつまで乗ることが出来るかわからないかたも多いので、リースなどのプランをご案内しています。18歳の時にここにアルバイトで入って社員になり、その後何度も転職を経てここに帰って来ました。ですからお顔や家族関係まで知っている人も多くて、車の販売後もお付き合いが続いています。

納車の時には男性にはキーホルダーなどの小物、女性には花をプレゼントしています。それで喜んでいただけることがとても楽しみです。



元気なスタッフと頼れる同僚と共に 地域を支える良い仕事を

村田町のイチ推しは、ここの向かい側にある、物産交流センターでもある「道の駅 村田」。町の特産品のそら豆や、生で食べても美味しいとうもろこし「味来(みらい)」、先日はシャインマスカットの販売もしていました。その隣の村田町歴史みらい館でも面白い展示を行っていて、休日などはとても混んでいます。

伊藤忠エネクスにはとても働きやすい環境を作っていただいています。店長同士も結構仲が良くて、会議のあとなどによく呑みにいきます。休日は基本的には家にいたり、ドライブに行ったりしていますが、ジムに通って筋トレなどの身体づくりをもう一度始めようかと思っています。仕事もプライベートも、健康でなければ何も出来ませんからね。



Interview 5

会社もこの事務所も
いつでも自分を迎え入れてくれる
第二の家族的な存在。
安心して仕事に取り組めます。

伊藤忠エネクスホームライフ東北

宮城支店 古川事務所

〒989-6251 宮城県大崎市古川小野字新鶴巻 12 番 1
TEL.0229-28-2346 FAX.0229-28-2347

営業課（古川事務所 SO） **赤間 暁典** さん



お客さまに喜んでいただき、 より良い仕事のための資格取得を

福島支店に5年いて、1年半前にこちらに来ました。入社以来ずっと、私たちのガスを使ってくださっているお客様のところを訪問して、定期点検やアフターフォローを行っています。うちはインフラ系でありながら、住設関係などの暮らしに関わる部分でご提案出来る商材が多いのが魅力です。

営業から工事の施工まで自分で完結させて、お客様のご希望どおりに仕上げる事が出来ると、とても感謝されますし、その仕事を気に入っていただけて追加でお仕事をいただくと、大変励みになります。さらにお客様に喜んでいただきこれからの仕事の幅を広げるためにも、まだ東北では所持している社員があまりいない丙種ガス主任技術者の資格を取りたいと思っています。



冬はやっぱりゲレンデへ！ 休日の楽しみが 仕事を頑張れる原動力

福島よりもこちらのほうが年齢層の高いお客様が多く、直接ご連絡をいただくなど距離感も近いと思います。訪問先で担当業務以外のお手伝いも時々やりますし、孫のように見てくれるのか「お茶飲んで。何ならご飯食べてけ」と言っていたくこともあります(笑)。

休日は仙台に行くことも多いですが、この冬の楽しみはスノーボードなどのウィンタースポーツです。ここから一番近い、鳴子のオニコウベスキー場によく行っています。時にはパウダースノーを求めて岩手の夏油高原に足を伸ばすこともあります。福島にいた時はリフトのシーズン券を買ってスキー場に通っていました。休日に何をするか考えると仕事にも力が入りますし、ゲレンデに行く朝は早起きも苦になりません。



Interview 6

会社は自分が成長出来る場所。
ご提案したものをご購入いただき、
「買い替えて良かった」と
言っていただくと私も嬉しくなります。



伊藤忠エネクスホームライフ東北株式会社
宮城支店

〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町 3 丁目 1-35
TEL.022-232-1816 FAX.022-232-1818

営業課 狩野 未那美 さん



修理などの技術力を身に付け、 販売でガス機器の魅力を伝えたい

3年間本社にいて、この4月から宮城支店です。インフラは生活に欠かせないものですし、東北に貢献出来る仕事だと思い入社しました。本社では座学で研修は受けてきましたが、実技的なことを経験するのは初めてです。主に法定点検と入居・退去を担当しています。技術的に私にはまだ難しい部分もありますが、今後は不具合の原因や対応方法を自分で見つけ出し、修理も出来るよう実力を付けたいと考えています。

入社してから魅力的なガス器具がたくさんあることを知りました。ガスの乾燥機ですとか、強い火力でとても美味しいご飯が炊けるガス炊飯器など。そういった商品をお客様にご提案して、納得して購入いただけるような営業を行っていきたいです。

旅にグルメに充実の週末時間 次は卓球を究めたい

休日は美味しいものを求めて、東北や関東方面へ旅行に行くことが多く、最近では静岡の人気ハンバーグ店「さわやか」に行きました。3〜4時間くらい並びましたが、とても美味しかったです。仙台は、春は桜、夏は七夕、秋はジャズフェスティバル、冬は光のページェントと、季節ごとにイベントがあるのが自慢です。そういうイベントにも出かけるので、やっぱり週末が楽しみです。

最近では卓球にハマっています。学生時代の体育の授業でも一番好きだったので、今はスクールに入って究めたいと思うようになりました。そこには、社会人のかたもいますが小学生やシニアが多く、あまり中間層がいないようです。いいスクールがあったら教えてもらいたいです。

in Miyagi

Pickup Spot

スタッフのおすすめスポットをご紹介します



陸奥八仙を中心に青森の銘酒が揃い
女将さんの朗らかな笑顔と、腕自慢の親方の手の込んだ料理の数々。
常連で賑わう隠れ家的なこの店は、食材も女将さんが直接仕入れに行き、
青森、そして八戸の“におい”を大切にしています。



美酒美食 ハセэн

仙台市宮城野区原町 2-8-27
TEL.022-293-2623
17:30~24:00 水曜定休 陸前原町駅から徒歩 10 分
完全予約制（当日予約も可）

2013年に多賀城から移転した際、開店準備の段階から私たちとはプロパンガスを通したお付き合い。カウンター4席と掘りごたつ式のお座敷のあるこじんまりとしたこの店は、お酒もお料理も外れなし。女将さんの出身地である八戸を中心に数々の青森のメニューが揃い、新鮮な海産物はもちろんのこと、女将さんが焼くふわふわの厚焼き玉子も人気です。



／ 教えます！ ／

地元の伝統・文化

Local Traditional Culture



写真提供：宮城県観光プロモーション推進室

仙台 すずめ踊り

躍動感あふれる舞いに心躍るお囃子。「仙台すずめ踊り」は杜の都を代表する郷土芸能として、青葉まつりをはじめ、四季を通じて各地で踊られるようになりました。1603年の仙台城落成の際、泉州・堺（現在の大阪府堺市）から移り住んだ石工たちが、即興で披露した踊りが始まりと言われています。

戦後一時途絶えましたが、1987年の第3回仙台・青葉まつりで現代風にアレンジされた2つの踊りが披露されました。もともと即興の踊りであったことから、基本の動き以外は自由なすずめ踊りは、祭連（まづら）ごとにそれぞれ個性のある踊りが繰り広げられ、可愛い小雀たちや留学生たちのにぎやかな舞いが祭りを盛り上げています。